



みなみみのわ 議会だより

No. **154**
2026.8.1
発行

子どもたちに元気な野菜を!!

こぼうし農園
浦野さん

農園わの屋
大野さん夫妻

一般質問動画 配信中

QRコードから各議員の一般質問動画が
観られます。

インターネット村ホームページ→村議会→
本会議録画中継→定例会



6月定例会・臨時会	p2~3
まっくんバス運行等調査特別委員会	p4~5
議会活動	p6~7
一般質問	p8~13
きらきら村の仲間たち (若手農業者)	p14~15
モニターの声	p16

議会議員政治倫理条例を制定

6/1~12

令和8年6月定例会

(議案名はわかりやすく簡略表記しています)

議会提出	賛成	反対	結果
議会議員政治倫理条例 詳しくは3ページ参照	8	0	可決
条 例	賛成	反対	結果
村税条例の一部を改正する条例 ▶地方税法等の一部改正に伴う改正	8	0	可決
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 ▶公務により死亡した場合の葬祭補償額の改正	8	0	可決
火入れに関する条例の一部を改正する条例 ▶林野火災の予防を目的とした所要の改正	8	0	可決
合葬式墓地条例 ▶合葬式墓地の設置及び管理に関する条例	8	0	可決
宿泊税交付金基金条例 ▶長野県宿泊税市町村交付金を観光振興の財源に充てるための基金設置	8	0	可決
補正予算	賛成	反対	結果
一般会計補正予算(第2号)	8	0	可決
介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	8	0	可決
水道事業会計補正予算(第1号)	8	0	可決
下水道事業会計補正予算(第1号)	8	0	可決
その他	賛成	反対	結果
工事請負契約の締結(南箕輪小学校南校舎長寿命化改修工事) ▶原建設株式会社 226,380,000円	8	0	可決
農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて ▶任期満了に伴う委員の任命	8	0	同意
請願・陳情	賛成	反対	結果
「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願 ▶福祉教育常任委員会は採択 ●請願に反対(百瀬)内容は理解でき反対するものではないが、義務教育費国庫負担を2分の1へ拡充することは、時代背景と議論の結果から反対である。 ●意見書に賛成(西森)地方の教育を維持するためには、義務教育費国庫負担の拡充が必要。 ●意見書に反対(百瀬)意見書の3の部分は、教員の給与に関係する部分であり、三位一体改革で議論し決めてきた。教員給与は上がってきており、保障はされている。	7	1 (百瀬)	採択  意見書

6月定例会は、11議案すべて可決・同意。請願1件を採択し、意見書を提出しました。また、議員の政治倫理基準を定める南箕輪村議会議員政治倫理条例を制定しました。

5/8

令和8年第3回臨時会

(議案名はわかりやすく簡略表記しています)

条例(専決処分)	賛成	反対	結果
村税条例の一部を改正する条例 ▶軽自動車税の環境性能割廃止など	8	0	賛成
国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ▶子ども・子育て支援納付金課税	8	0	賛成
補正予算	賛成	反対	結果
一般会計補正予算(第1号)	8	0	可決
その他	賛成	反対	結果
工事請負契約の締結(大芝の湯リニューアル工事・建築工事) ▶原建設株式会社 332,750,000円	8	0	賛成
工事請負契約の締結(大芝の湯リニューアル工事・機械設備工事) ▶株式会社堀建設 511,500,000円	8	0	賛成
工事請負契約の締結(大芝の湯リニューアル工事・電気設備工事) ▶有限会社唐木電設 82,390,000円	8	0	賛成
工事請負契約の締結(南箕輪小学校旧給食センター改修工事・建築工事) ▶株式会社宮坂組 87,450,000円	8	0	賛成

議会議員政治倫理条例とは

(条例の内容をわかりやすく要約しています)

村議会では、住民の皆様から信頼される、公正で民主的な村政を発展させるため、議員が守るべき政治倫理のルールを定めています。

議員が守るべき「8つのルール」(政治倫理基準)

- ①金品や接待の禁止：不正を疑われるようなお金や品物のやり取り、飲食の接待を受けないこと。

②不適切な寄附の禁止：批判を受けるおそれのある寄附(後援団体含む)を受けないこと。

③契約への不関与：村の委託・請負契約について、特定の企業や個人、団体に対し、有利または不利な取り計らいをしないこと。

④職員への圧力禁止：村の職員の公正な仕事を妨げたり、議員の立場を利用した勧誘や物品販売をしないこと。
- ⑤ネット・SNSでの誹謗中傷禁止：ウェブサイトやSNSなどで、他人の名誉や人格を傷つける発言をしないこと(第三者にさせることも禁止)。

⑥ハラスメントの禁止：嫌がらせ、強制、圧力をかけるなど、人権を侵害する行為をしないこと。

⑦秘密の保持：仕事上で知り得た情報を、みだりに他人に教えたり、不正に使ったりしないこと。

⑧法令の遵守：その他、すべての法律やルールに違反する行為をしないこと。

違反の疑いがある場合の「審査請求」

議員にルール違反の疑いがあるときは、議長に審査を求めることができます。

- 議員からの請求 議員 2人以上 の連名をもって請求。
- 村民からの請求 選挙権を持つ村民の 100分の1以上 の連署をもって請求。



4/22～30 まっくんバス乗降調査を実施

調査日：4月22日	乗降者数
(朝便)南原→伊那バスターミナル→北殿駅	1名
(夕便)北殿駅→伊那バスターミナル→南原	0名
(朝便)ベルシャインニシザワ→北殿駅→伊那支援学校	10名
(夕便)伊那支援学校→北殿駅→ベルシャインニシザワ	6名
(朝便)北原→北殿駅→伊那弥生ヶ丘高校	12名
(夕便)伊那弥生ヶ丘高校→北殿駅→北原	5名
調査日：4月23日	乗降者数
(朝便)北原→北殿駅→伊那弥生ヶ丘高校	14名
調査日：4月30日	乗降者数
(朝便)ベルシャインニシザワ→北殿駅→伊那支援学校	13名
(夕便)北殿駅→伊那バスターミナル→南原	0名

調査の結果、伊那支援学校線および伊那弥生ヶ丘高校線では、通学利用を中心に一定の利用が確認された。特に伊那支援学校線では、支援学校の生徒やJRへの乗り換え利用者の利用が見られた。



また、伊那弥生ヶ丘高校線では、高校生の通学手段として活用されている実態が確認できた。一方、南原と北殿駅を結ぶ便では利用者がおらず、運転手からも日常的な利用は少ないとの話があった。以前運行していた大芝の湯方面への便と比較すると、利用実態が大きく変化していることがうかがえた。

北殿駅周辺や市街地での交通渋滞による遅延、大泉地区の狭い道路における安全確保、バス同士の接続の悪さといった課題も確認された。加えて、朝夕の分離運行による運転手不足や勤務調整の難しさも課題として指摘されていた。

5/18～19 茨城県東海村の地域公共交通を視察

茨城県東海村の地域公共交通について視察した。東海村では、利用者減少により路線バスを見直し、H18年からデマンドタクシー「あいのりくん」を運行している。近年はAIやLINEによる予約システムを導入し利便性が向上した一方、利用増加による車両不足や公費負担の増加が課題となっている。

また、「朝夕の大量輸送は路線バス、日中や交通空白地の移動はデマンドタクシー」と役割を明確化し、蓄積した利用データを基に職員自らが地域公共交通計画を策定している点が特徴である。

南箕輪村とは交通環境が異なるものの、利用実態に基づくデータ活用や交通手段の役割分担など、今後の公共交通のあり方を検討する上で大いに参考となる視察であった。



まっくんバス運行等公共交通の見直しに関する調査特別委員会中間報告



南箕輪村全体の公共交通の現状と対策

現在、南箕輪村全体の公共交通は、まっくんバス3ルート「北原―伊那弥生ヶ丘線」「南原―北殿駅線」「北殿―伊那支援学校線」、タクシー券(対象者限定)、福祉移送サービス(利用制限あり)、および南部地域限定の「ぐるっとタクシー」で構成されている。

しかし、タクシー券や福祉移送サービスは利用者が特定の対象者に限定されており、「ぐるっとタクシー」も地域限定の運行である。また、まっくんバスも通学・通院を想定した朝夕のみの運行にとどまっている。

村民からは「買い物に行けなくなった」「大芝の湯に行けなくなった」「役場に行けなくなった」といった切実な声が寄せられており、村全体を見渡すと、多くの村民に等しく行き届いた移動手段が不足していると言わざるを得ない。

特別委員会開催日

第6回：R 8年5月8日

第7回：R 8年5月22日

第8回：R 8年6月5日

まっくんバス新ルート運行の評価

当調査特別委員会は、3班に分かれて4月22日、23日、30日の3日間、新ルートである「北原―伊那弥生ヶ丘線」「南原―北殿駅線」「北殿―伊那支援学校線」の朝便・夕方便に乗りし、運行状況の調査を実施した。

朝便においては高校生の利用がある程度見られ、伊那支援学校の生徒による朝便・夕方便の利用が確認された。しかし、運行時間が限られているため、利用の無い便もある。

現状の需要に合わせた運行時間や最短ルートの再検討が今後必要である。1便あたりの乗車人数は計画目標値に達していないものの、実車調査の結果から、本ルートはある程度利用が見込めるものと評価する。今後は月ごとの乗車状況等を精査し、運行時間やルートの柔軟な変更が必要である。

先進地の事例を見ても、目的地が同じ多数の乗客を運ぶ「路線バス」と、個人の目的に応じて移動する「デマンドタクシー等」の組み合わせが効果を発揮している。

本村の公共交通においては、特に移動手段を持たない村民への対応をどうするかが早急に問われている。先進地の事例に倣い、利用者の目的に合わせて柔軟に移動できる小回りの利く移動施策の導入が急務である。

これらを踏まえて、地域公共交通協議会等においては、南箕輪村地域公共交通計画の見直しと、まっくんバス運行継続の是非や近隣自治体との連携も含めた公共交通のあり方を、令和8年中に協議されたい。

施策の実現には財政措置が伴うため、利便性の向上だけでなくコスト面とのバランスも十分に考慮する必要がある。また、実施にあたっては運行事業者とのていねいな交渉も不可欠である。

以上、一刻も早い具体的な施策の展開を要望する。



5/20

令和8年度主要事業ヒアリング 福祉教育常任委員会

住民環境課

ごみの分別が進み、資源ごみが増加していること、生ごみ処理機補助の申請が増えていること、墓地公園では710区画中23区画が空いていることなどが報告された。

福祉課

高齢者の見守り体制や成年後見制度の利用状況について説明を受けた。タクシー利用助成は利用者が増加していることの説明を受けた。

健康医療課

まっくん健康ポイント事業の利用者増加や、特定健診の受診率向上に向けたデータ活用について説明があった。

こども課

村独自の一時預かり事業は好評で利用が増加している一方、「こども誰でも通園制度」の利用はまだない状況。

教育委員会

文化財の収蔵スペース不足への課題。今後は中学校グラウンドトイレの整備が予定されている。ICT支援員は1人体制となったとの報告を受けた。



5/28

令和8年度主要事業ヒアリング 総務経済常任委員会

総務課

R9年度予定している庁舎と保健センターの長寿命化対策工事の工程および調査設計委託の照査、交通安全の環境整備、広報紙等のデジタル化の検討などを行う。

危機管理課

地域防災計画の見直し、避難所運営セミナー、村総合防災訓練、クーリングシェルター(暑熱避難施設)の指定などを行う。

地域づくり推進課

地域公共交通の検討、長野県地域発元気づくり支援金事業「つながりひろがる人と自然と音楽のハーモニー♪」、地域活動支援事業補助金の交付などを行う。

観光森林課

大芝の湯リニューアル工事、グリーン・セーフティ・オアシス大芝高原プロジェクト、中央アルプス経ヶ岳ラウンドトレイル、大芝高原まつり、観光協会を中心とした観光の充実などを行う。

財務課

村の財産管理、補助金の再構築(廃止を含む交付要件の見直し等)、ふるさと納税業務などを行う。

産業課

「風の村米だより」の周知と生産・消費拡大、村産村消・地産地消の促進、農業者への補助金による支援などを行う。

建設水道課

地区要望による地区計画事業、公園整備、上下水道施設の維持管理などを行う。



5/15

中学生議会事前学習会



11月24日に開催予定の「中学生議会 2026！」に向けて、南箕輪中学校3年生の事前学習会を開催した。議会のしくみや活動を説明し、質問時間を設けたところ、生徒や先生からは村や議会に対する疑問が次々と寄せられた。中学生議会での質問内容のヒントになる課題も共有でき、今年度の中学生議会に期待が高まる時間となった。

「中学生議会2026！」
11月24日(火)午後 開催予定

5/27

議員報酬改正に向けて中川村議会を視察

「議員報酬改正についての取り組み」を学ぶため、中川村議会への行政視察を行った。

▼ 若手世代の生活実態に合わせた画期的な改正

中川村議会では、2021年に議員報酬引き上げに関するアンケートを実施。その結果を基に、2022年8月から議員報酬条例に「世代別報酬加算」を導入するという先進的な改正を行った。

この改正の最大の眼目は、「若手・現役世代に生活実態に見合った議員報酬の上乗せを」という点である。世代別の加算によって、現役世代の年間報酬額をモデル賃金に近づけ、誰もが経済的な不安なく議員に挑戦できる環境づくりを目指したものだ。

▼ 誰もが議員を志すことができる環境を目指し、2期連続の改定提案へ

前回の改正直後から物価が高騰し、報酬は実質的に低下している。そのため中川村議会では、「議員になりたい人が誰でもなれる状態をつくること」「議員になっても生活に困窮しない状態とすること」を明確な目的として掲げ、2期連続となる報酬改定を提案している。

報酬レベルの算定基準には、総務省の家計実態報告、地方公務員給与、長野県賃金統計資料などの客観的データを活用。さらに伊那市や飯田市との比較資料を作成するなど、緻密なデータ分析を行っている。また、ていねいな情報発信と住民理解への努力を重ねている点も大いに参考になった。



南箕輪村議会に行ってみよう!

- どなたでも傍聴できます。(当日、氏名と住所を記入)
- 静かに傍聴してください。



傍聴席

南箕輪村議会を見に来てみませんか? 次の議会は **9月1日(火)** 開催予定

村の未来や日々の暮らしに関わる大切な話し合いが、議場で行われています。 ※決定日時はホームページか議会事務局にお問い合わせください。



問 「公園ワークショップ」開催を

答 世代間多様なルールづくりを(村長)

唐澤由江

問 6月に「大泉あおぞら公園」が開園した。今後は、安全・安心に利用できる身近な憩いの場として適切に維持管理していくことが求められるが、村の考えは。

村長 障がいの有無にかかわらず誰もが利用できる公園として、子どもから中高生、高齢者、障がいのある人まで、多世代の利用者の視点を取り入れながら維持管理や利用ルールづくりを進めていく。地域と協力し、誰もが安心して利用できる公園として育てていきたい。



大泉あおぞら公園であそぶ子ども

「まっくんおにぎりケース」販売

問 「まっくんおにぎりケース」は好評だが、販売する考えは。

村長 中学生が「将来、村に帰ってきたいと思えるもの」として中学生議会で提案された。非売品として製作し、中学3年生166人に記念品として配布した。販売も検討したが、米価が高騰していることから、「風の村米だより」を5Kg購入した人に「まっくんおにぎりケース」を1個プレゼントする案を検討している。

野良猫の不妊・去勢

問 野良猫を多く見かけるが、村の実態は。

村長 R7年度の野良猫に関する相談は5件で、主な内容は糞尿被害や鳴き声による苦情であ

る。無責任な餌やりは控え、無秩序な繁殖を抑えることが重要と考えている。

問 猫の不妊・去勢手術の状況は。

村長 野良猫の繁殖抑制を目的に、昨年度から「猫繁殖制限手術費助成金」を創設した。補助額は1匹あたり3,000円で、R7年度は24匹、R8年度はこれまでに2匹が利用している。今後も猫による生活環境への影響を軽減するため、補助制度の周知を図っていく。

図書館でAIの活用

問 蔵書点検はどのように実施しているのか。

教育長 毎年9月末に6日間かけて実施している。約8万冊の蔵書について、バーコードをハンディスキャナーで読み取り、データと照合しながら所在確認を行う。

問 AIによる蔵書管理システムを導入し、背表紙画像の読み取りなどを活用してはどうか。

教育長 AIを活用した蔵書管理は、作業時間の短縮や蔵書点検に伴う休館日の削減につながる可能性がある。ただ、現在は8市町村で共通の図書館システムを利用しているため、今後の研究課題として検討していきたい。

学級閉鎖時の給食の対応

問 学級閉鎖時の給食について、廃棄をなくすための有効活用策は考えられているか。

教育長 学級閉鎖が決定した場合は、直ちに食材の数量変更や発注のキャンセルを行うとともに、日持ちする食材は適切に保管し、後日の献立に活用している。学校給食センターでは小中学校合わせて38学級分の給食を調理しており、1～2学級が閉鎖となった場合は、残りの36学級に配分して対応している。また、急きょ学級閉鎖となった場合には、給食を食べてから下校させるなど、食品ロスの削減に努めている。



問 自治会が抱える課題の現状認識は

答 加入率低下が課題と認識している(村長)



太田篤己

問 自治会(区)加入率の推移と、未加入に伴う地域コミュニティの分断リスク、持続リスクへの現状認識は。

村長 戸建て世帯の加入率は、R3年度が87.8%、R7年度が83.1%で年々低下しており、多くの自治体に共通する課題である。分断リスクは、住民同士のつながりや地域への関心が薄れ一体感や合意形成の力が弱まるリスク。持続リスクは、加入率の低下、役員のなり手不足、高齢化、行事や共同作業への参加者減少などにより、地域の活動や支え合いの仕組みを維持することが難しくなるリスクであると認識している。

問 移住者と伝統的コミュニティをつなぐ「接点創出」のために、移住・転入時に自治会の役割を伝えるビギナー向けガイダンスやガイドブックを作成し配布を行う。また、村のホームページで各区ごとの広報動画を公開するなどの仕組みづくりを村が主導しては。

村長 R5年度自治会検討委員会でも同様の趣旨の意見が出されており、多くの人の共通課題であると認識している。転入者向けのガイダンス、ガイドブック、各区ごとの広報動画などについては、移住者と既存住民、地域コミュニティとの接点を作る有効な手法であると思う。広報動画については、各区と相談し、効果的な内容や負担の少ない作成方法を研究していく。



自治会ガイドブック案(イメージ)

問 「拒否されない自治会」への構造改革が必要で、若い移住者のライフサイクルを考慮し、いきなり役員を任せるのではなく、まずは、単発のイベントの手伝いや、得意分野(IT、広報、デザイン等)だけのスポット参画ができるような仕組みの導入を、村がマニュアル化して自治会に提示・推奨できないか。

村長 自治会が暮らしに合った参加しやすい形へ変わっていくことも重要で、提案のような仕組みは効果があると思う。しかし地域活動が無償の善意や慣例に頼り続けるのではなく、有償で地域のために関わることの価値を認めていく視点が重要だと考える。村負担での集落支援員配置はその第一歩だ。全村一律のマニュアル等ではなく、各区の実情に応じて課題を改善していくことが重要ではないか。

問 自治会存続において最も重要な「新しい人材の加入」という課題検討のため早期に第2弾の「持続可能な自治会検討委員会」の設置を。

村長 これまでの検討委員会では全地区を対象にしていたが、各区の置かれている状況の違いは大きく議論が深まらない面があった。今後は全村的な検討委員会を設置するのではなく、より実効性のある形が望ましい。具体的にはモデル地区を選定し、区役員はじめ移住者など多様な人々の参画による検討委員会で、その地区の実情に応じた検討を行い実践につなげていくことが望ましい。必要があれば行政の積極的な財政面の支援も。以上は私の構想段階であるものが多く、今後、区長会等での意見交換や、職員との議論を深め方向性を決めていきたい。



西森 一博

問 大芝公園整備計画の方向性は

答 スケートボードパークの実現は困難(村長)

問 大芝公園整備計画の再検討はどのような状況にあるのか。また今後の方向性は。

村長 大芝公園整備計画の期間はR10年度までとし、優先度が高く実施可能なものから順次進めている。スケートボードパークなど財政負担の大きい事業については、R10年度までの計画期間内での実現は困難であると考えている。

問 プール跡地でのスケートボード事業が終了した理由と、「子どもたちの遊び場をつくりたい」思いを、どのように受け止めているか。

村長 関係者から事業を取りやめる申し出は受けていない。これまで関係者と意見交換を重ね、一定水準の施設を早期に整備したい考えに対し、財政面や村民理解を考慮し、段階的な整備でなければ難しいとの考えを伝えてきた。関係者の熱意は強く感じており、県へ提案を行うなど実現の可能性を模索してきたが、施設整備には至らなかった。

ごみ収集と資源循環の促進

問 ごみ収集は重要な社会インフラ。人手不足やコスト増に直面する事業者が受託を継続できるよう、入札金額等の見直しを行っているのか。

村長 毎年度、複数事業者から見積書を徴取し、それを基に予定価格を設定している。業務期間中も事業者と協議を行い、作業上の課題を把握しながら委託条件を見直している。

問 一般家庭や地区の衛生作業で発生する草を肥料にする仕組みを構築できないか。

村長 草を集約し堆肥化する仕組みについて現時点では慎重に検討したい。資源化の視点は重要であり、各家庭での堆肥化や、小規模な取り組みについて研究していきたい。

村ホームページの障害と利便性向上

問 R8年2月25日に起きた村ホームページのアクセス障害の原因は特定されたのか。



村長 データセンターでファームウェアの自動更新とデータ点検処理が重なったことが要因。故障や不正侵入、個人情報漏えいはない。

問 事業者から再発防止策は示されたのか。

村長 メンテナンス作業の事前連絡や障害発生時の初動・進捗報告を強化し、迅速な情報提供を徹底するとの報告を受けた。庁内でも初動体制や連絡体制を改めて確認し、障害発生時には代替的な情報発信の整備を進めたい。

問 サイバー攻撃に対しての備えは。

村長 自治体情報セキュリティクラウドを経由し、不正通信の監視や遮断など一定の対策を講じている。障害が発生した時はLINEやメール、防災行政無線など複数の媒体を活用し、住民への情報伝達を継続する。

問 利用者視点でホームページの評価や見直しを行っているのか。

村長 現在のシステムには、利用者評価をする機能が備わっているが活用していない。今後は保守業者と相談し機能の有効化を進めたい。

問 村報のデジタル版をスマホでも見やすいビューワーへ変更する予定はあるのか。

村長 スマホ利用者に合わせてアプリの導入を検討したい。



問 地域クラブへの補助金は

答 認定地域クラブ活動支援補助金を計上した(教育長)

問 スポーツ・文化活動の地域展開により、クラブ会費や遠征費など保護者負担が増えている。低所得世帯への支援の現状と相談状況、また今後の補助金拡充の考えは。

教育長 経済的に困窮している家庭には、「児童生徒就学援助費支給要綱」に基づき支援を行っている。対象経費にはクラブ活動費も含まれており、経済的な理由で活動を断念することがないように支給している。支給額については検討の余地があるが、現在のところ相談や問い合わせはない。今回の補正予算では、認定地域クラブ活動支援補助金を計上し、備品購入や修繕、消耗品、会場費などに活用できるよう、各クラブへの活動支援補助金を新設する。

問 地域クラブの運営主体は保護者会であり、送迎も保護者が担っている。自分の子ども以外の子どもを乗せて移動する場合もあるため、教育委員会として保険加入など安全対策の指導が必要ではないか。

教育長 送迎の多くは保護者が行っている。自家用車で自分の子どもを送迎する場合は個人の責任となるが、自分の子ども以外の子どもを同乗させる場合については、今後わくわくクラブ等と連携しながら対応を検討したい。指導者と生徒にはスポーツ安全保険への加入を義務付けており、遠征時の事故などにも適用される。事故やトラブル発生時の対応については地域クラブ活動運営ガイドラインに定めており、今後も危機管理マニュアルを点検しながら安全確保に努める。

問 平日・休日ともに地域クラブへ移行する完全な地域展開に向けた今後のスケジュールは。

教育長 国はR8年度からR13年度までの6年間

を部活動改革の実行期間としている。平日の地域展開については、環境が整ったクラブから順次取り組んでももらいたい。関係者との協議を進めながら、慎重かつ計画的に進めていく。

リサイクル業者の屋外ヤード

問 村内にあるリサイクル業者や屋外ヤードは何社、何か所あるのか。

村長 一般廃棄物収集運搬業の許可業者は、村長許可が5社、県知事許可が20社である。ただし、許可業者のうち金属スクラップの保管・選別・加工を行っている事業者や屋外ヤードについては、現時点で村として網羅的な把握はできていない。

問 相談や苦情が寄せられた場合の対応と、今後の取組みは。

村長 相談や苦情があった場合は、村が相談者と事業者の間に入り、その都度現場を確認しながら改善に向けて事業者と協議している。要望に応えられない場合もあるが、今後は改正法の施行を見据え、県など関係機関と連携しながら、住民が安心して暮らせるよう適切に対応していく。



屋外スクラップヤード(イメージ)



都志今朝一

問 令和17年度目標人口16,500人とした根拠は

答 国立社会保障・人口問題研究所人口推計を基にした(村長)



問 南箕輪村第6次総合計画で、R17年度の目標人口を16,500人とした根拠は。

村長 R17年度の目標人口は、R5年度に公表された社人研の将来人口推計を基に設定した。推計ではR17年の人口は16,464人とされており、この数値を踏まえ、第6次総合計画では目標人口を16,500人とした。総合計画に掲げる将来像の実現に向け、目標人口に近づける施策を着実に進めていく。

大芝の湯・入浴料

問 大芝の湯のリニューアル後、入浴料金を値上げする考えは。

村長 入浴料は今後見直しが必要と考えている。大芝の湯は村民福祉の向上という重要な役割も担っており、村民料金のあり方も含めて検討する。具体的な改定額や実施時期については、客観的なデータを整理したうえで、根拠となる資料と合わせて示していく。

雨水排水対策

問 宅地造成などにより道路が低くなり、雨水がたまって宅地内へ流入するケースがある。雨水排水対策は。

村長 農地転用を伴う宅地造成では、降雨時に宅地内へ雨水が滞留しないよう、道路より地盤を高くするよう指導している。特に天竜川沿いの下段地区は平坦な地形のため自然排水が難しく、道路冠水が発生している。道路側溝などの整備は重要な課題と認識しており、伊那土地改良区と協議・調整を行いながら、地域の実情に応じた排水対策を検討していく。

庁舎窓口対応

問 提出書類などの説明不足により、手続きのために再度来庁するなど二度手間が発生している。窓口対応の改善が必要では。

村長 案内が十分でない場合、申請者にとってわかりにくく、二度手間となることもある。住民の多くは申請手続きに慣れていないことを常に意識し、記入例の見直しやわかりやすい説明を心がけるなど、窓口対応の改善に努めていく。

旧いずみ苑整備と活用

問 旧いずみ苑のフェンス周りにあるイチイなど、樹木の整備は。

教育長 現在、旧いずみ苑(文化財資料保管倉庫)はイチイやサクラなどの樹木に囲まれている。イチイは剪定にも費用を要することから、伐採を検討している。敷地内の草刈りはシルバー人材センターへ依頼し、年間2~3回実施していく。

問 文化財収蔵施設としての案内看板などを設置する考えは。

教育長 収蔵品の整理が進みつつある。県宝の土器は村民センターホワイエでの企画展示を計画しており、その他の収蔵品についても村ホームページなどで紹介していく。看板は、門扉にある「西部浄化センターいずみ苑」の表示を「南箕輪村文化財資料保管倉庫」に変更対応する。



旧いずみ苑(大泉)



三澤 澄子

問 開かれたこども館への取り組みは

答 全天候型屋内遊具など整備し、多機能施設に(教育長)



問 子ども計画が策定された。子どもまなか社会の実現をどのように進めるのか。

村長 子どもを「意見を持つ主体」として尊重し、その声を施策に生かしていく。妊娠期から子育て世代まで切れ目のない支援を行い、村全体で子育て環境を支えていく。

教育長 放課後児童クラブは南箕輪小学校へ集約し、こども館は多機能型施設として整備する。小・中学生の居場所づくりやクリエイティブデジタルAI体験、不登校支援などに活用していく。



問 放課後児童クラブのさらなる充実が求められる。支援員の体制強化や研修の充実、処遇改善を図るべきではないか。

教育長 南箕輪小学校への統合集約に合わせ新たに理科室を整備する。土曜日にも利用できるよう専用通路や備品を整え、安全・安心に過ごせる環境を整備する。また、長期休業時には支援員を増員し、村事業として昼食提供も行う。

問 子どもの意見尊重と社会参加を推進するため、子ども会議を立ち上げる考えはあるか。

村長 子どもや若者が施策に参加することは有効である。ワークショップやアンケートなどさまざまな手法があり、子ども会議も有力な方法の一つである。参加しやすい仕組みづくりも含め検討していく。

問 子ども政策の中心となる子どもの権利条

例を制定する考えはあるか。

村長 権利条例は、意見表明や社会参加、相談・救済などについて行政や地域、学校の役割を定めるものである。まずは子ども計画を着実に推進し、子どもまなか社会の実現を目指す。その上で条例制定も検討していく。

ハラスメントのないむらづくり条例制定

問 安心して働ける職場環境をつくるためのアンケート調査をどのように進めるのか。

村長 アンケートはハラスメントの未然防止や早期把握、適切な対応につなげる基礎資料となる。理事者、職員、議員を対象に専門業者へ委託し、R8年度のできるだけ早い時期に実施する。結果を分析し、防止対策や相談体制の充実、管理職のマネジメント向上につなげ、風通しの良い職場づくりを進める。また、村にふさわしいハラスメント防止条例の制定を検討していく。

地区社会福祉協議会の充実

問 介護予防の要となる地区社協のあり方をどのように位置づけ、支援しているのか。

村長 地区社協は、身近な地域で見守りや交流、支え合いなどフレイル予防の活動に取り組み、村全体で186回開催され延べ1,956人が参加している。村では出前講座への講師派遣や生活支援コーディネーターの派遣などを通じて支援している。今後も担い手確保などについて村社会福祉協議会と連携し支援していく。

問 地区社協の活動費は、区、村、村社会福祉協議会の助成金で成り立っている。活動実態に見合った助成金へ増額すべきではないか。

村長 地区社協の活動は、外出機会の創出やフレイル予防の面から今後ますます重要になる。助成金は活動実態に合っているかを含めて全体を見直し、R9年度から再構築を進める。

きらきら村の仲間たち

若手農業者



こぼうし農園

浦野健介さん（南原在住）

農業の担い手が不足する中、南箕輪村へ移住して就農された浦野さん、大野さんご夫妻からお話を伺いました。

Q.農家になって苦労したことや、嬉しかったことは？

多品種生産を目指していたので、どの品種がいつ高く売れるかを探ることに苦心した。自分の予測通りに売れて、採算に乗る仕事だと手ごたえがあった時。自分のブランドを覚えてもらって、「^{ひいき}真にしているよ」と声をかけられた時。

Q.「村産村消」を広めるために取り組むべきと感じることは何ですか？

村は農協と密に連携し工夫した方がいい。

Q.挑戦したいことや、夢は何ですか？

こぼうし農園ブランドの認知を広める。



Q.農業に興味はあるけれど一歩を踏み出せない若者へ、メッセージをお願いします

農業は就業者が減っていくことが逆にチャンスを生む。自分の考えとやる気があれば将来に大きな可能性がある職業です。

Q.以前に感じてた農業のイメージは？

両親が趣味程度に農業をしていた。農業は好きだが儲かる仕事ではないと思っていた。ただ、食料需要はかならずあるので将来性はあると感じていた。

Q.学校に給食提供されることで、子どもたちへの想いや、課題はありますか？

給食の献立は1か月前に立てるので、1か月後の収量と供給量のギャップを埋めるのは多品種少量型の現状では、結構難しい面がある。給食センターの、受け入れ時間帯をもっと広げてほしい。

Q.行政に期待することはありますか？

現在の新規就農の相談は^{しゃくし}杓子定規である。専門的な人・組織へつなぐなど、相談者に寄り添い、ていねいに相談にのる態勢を構築してほしい。



農園わの屋

大野しのぶさん、大野俊介さん（南原在住）

Q.農家になって苦労したことは？

苦労していることは、気候は毎年予想外の変化があるので毎年違う失敗がある。あと、野生動物による被害です。

Q.学校に給食提供されることで、子どもたちへの想いや、課題はありますか？

子どもから直接「おいしかったよ」とか、給食の先生から「野菜苦手な子が食べられるようになった」と言ってもらえたこと。学校給食に野菜を提供することで、食育に携わることができてうれしい。

Q.挑戦したいことや、夢は何ですか？

直売所をやりたい。

Q.行政に期待することはありますか？

当初、農地探しに大変苦労した。当時の農業委員に^ほ圃場探しでお世話になりました。行政の支援も心強かったです。今後も行政やJAの支援が更に充実することを望みます。

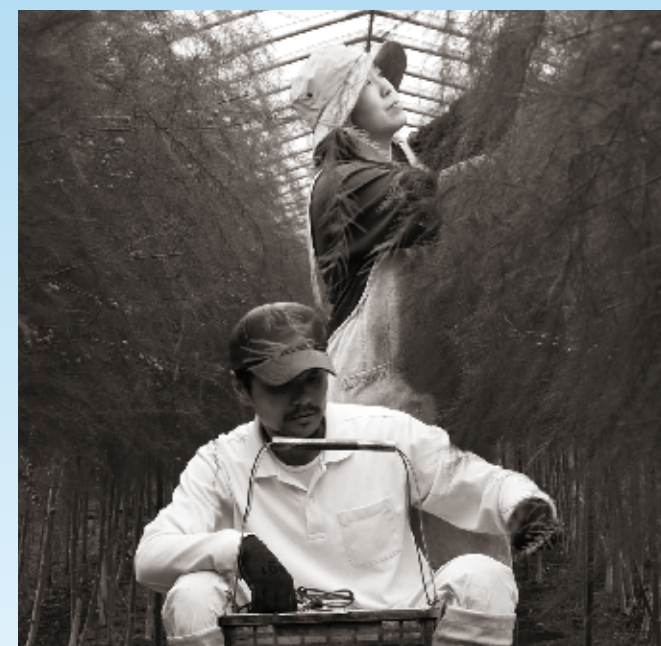


Q.以前に感じてた農業のイメージは？

俊介さん：実家が兼業米農家だったので、大変で、稼げないイメージ。
しのぶさん：実家が兼業米農家で手伝いしていましたが、つらくて嫌でした。

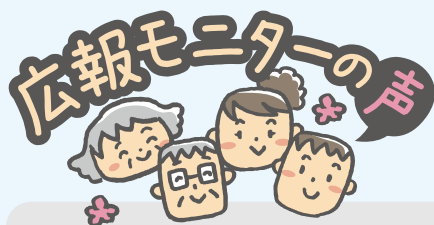
Q.「村産村消」を広めるために取り組むべきと感じることは何ですか？

「新鮮なおいしい野菜を提供すること」
「地元の飲食店と野菜料理を通じたコラボレーション企画」「直売所の拡充」



Q.農業に興味はあるけれど一歩を踏み出せない若者へ、メッセージをお願いします

農業は、将来性もあって本気でやる気さえあればやりがいのある仕事。ただし、中途半端な気持ちでは持続しない。



今月号より新しく10名のみなさんに広報モニターをお願いすることになりました。モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

紙面・議会への意見や感想

- 村会議員それぞれのプロフィールを順番に掲載していただきたいです。
- 議会で議員が質問・提案している内容について、どのくらいの費用がかかるのかを掲載すると、村民の理解がさらに深まるのではないのでしょうか。
- P7「議会基本条例の検証結果」について、評価する方が議員とのことですが、議員による評価に加え、第三者による評価も取り入れることで、より客観性が高まるのではないかと思います。
- 各議員の活動を知りたいです。それぞれの議員がどのような取組をしているのか、また今後何をしようとしているのかを紹介する紙面があると良いと思います。
- 簡潔にまとめられていて読みやすいです。
- 議会で取り上げられた議案などが一覧になっていて理解しやすいです。
- 表紙の中学生の皆さんの写真は明るく、躍動感が感じられます。
- 各議員のページに掲載されているQRコードから実際の議会の様子を視聴できるのは良いと思います。高齢者向けに利用方法の説明があると、さらに良いと思います。
- 職員退職の問題が取り上げられていましたが、必要な人材が流出しているのであれば心配です。経緯も知りたいと思いました。

- ご意見の多かった
ラウンドアバウトの説明

ラウンドアバウト(環状交差点)とは、交通量等が一定の条件下において安全かつ円滑な道路交通を確保することができる円形の平面交差点部的一种です。



(長野県飯田市東和町のラウンドアバウト)
出典：中部地方整備局 国土交通省HPより

編集後記 議会も多くの村民の声を聴いて村民目線の政策であるか検証をします。今回地域公共交通は特別委員会をつくり検討を重ねています。村は計画の見直しを、公共交通会議、公共交通協議会で始めました。村の公共交通を良い方向に進めて行きたいと考えています。(百瀬輝和)

- 記事の中で、その後どうなったのかという経過を知りたいものがあります。
- 行政の基本計画や実施計画について、現在どの程度進捗しているのかが分かる指標を、半期ごとなど定期的に示していただけると、行政に対する信頼が深まると思います。
- 議員の質問の中で、増税ではなく税収増加につながる提案も、あって良いと思います。
- 議員が、村民、村土、施設、各種運営に幅広く関わっている様子がうかがえました。
- 村民の声を聴く会だけでなく、議員に直接声を届けられる電話窓口の設置や、各区での現地視察などの機会があると、より多くの意見を聞くことができるのではないのでしょうか。
- 目的が曖昧に感じる質問が見受けられます。
- 今までどおり、一般質問の内容と答弁を詳しく掲載していただけるとありがたいです。
- 議員の皆さんの質問はさまざまな分野に目を向けており、村民にとってありがたいと感じました。
- 大芝の湯の改修は国際情勢の影響で延期となりましたが、大芝高原と周辺施設は村内外から高く評価されている観光資源です。今後どのように活性化していくのか議論を深めていただきたいと思います。
- 中学生議会や若者議会など、将来を担う世代が村政に関心を持つ取組は良いと思います。

村への要望

- 上農高校交差点から総合集会施設までの道路には歩道がありません。交通量が増加し、速度を出して通行する車も多くなっています。保育園の散歩や歩行者が車道を歩いている状況で、特に夜間は危険を感じます。
- 大芝の湯や大芝高原内の改修が進められていますが「道の駅」としての発展はどのように考えているのでしょうか。



すべての
モニターの声



議会だより
バックナンバー